

令和2年度

大分県優秀健康経営事業所 (知事顕彰)

大分県優秀健康経営事業所の表彰式が大分県庁にて開催されました(8月26日)。

本賞は、従業員の健康支援が会社の成長につながるという経営方針をきっかけ、その取り組みが、特に優秀で他の事業所の模範となる事業所に授与するものです。事業所の規模も業種も様々ですが、それぞれ事業主のリーダーシップのもと、しっかりと取り組んでいます。令和2年度は、以下の5事業所が顕彰されました。

(写真は左から)大分銀行、社会医療法人敬和会大分岡病院、(株)小野明組、(株)鳥繁産業、医療法人恵愛会中村病院)



優秀健康経営事業所の取組及び選考理由 (5事業所、従業員数順)

株式会社大分銀行 (大分市/金融・保険業/従業員数:1,621人)

2015年に職員の健康データを分析、2016年4月に健康づくり対策の基盤となる「いきいきDAIGIN2016」を策定。「健康経営宣言」のもと、就業時間内禁煙を実施するなど、頭取を「最高健康責任者(CHO)」として、従業員の健康保持・増進を推進。成果として、禁煙への取組から喫煙率は18%に低下(2015年対比▲7.3P)。子宮頸がん検診を開始し受診率は96.2%へ上昇(前年比+63.9P)へと導いた。

医療法人敬和会大分岡病院 (大分市/医療・福祉/従業員数:598人)

2018年1月に健康経営推進の要となる「職員保健推進室」を開設。院長を含む12名で構成、専従の産業保健師を中心に総務部、感染対策部など部署横断的な活動を展開。がん治療をしながらの就労支援も行っており、医療従事者の働き方改革も同時に推進中。

株式会社小野明組 (佐伯市/建設業/従業員数:23人)

従業員が元気でないと良い仕事はできない、健康管理も仕事のうちという理念のもと『従業員の健康』『地域の健康・活性化』を大事にしている。健康経営事業所として登録、実践するにあたり、社内にプロジェクトチームを結成。社員全員にアンケートを実施し、トレーニングルームの開設等、従業員が気軽に健康づくりに取り組める環境を整備した。

株式会社鳥繁産業 (津久見市/製造業/従業員数:92人)

平成27年に健康経営事業所に登録したことで、管理部が職員の健康を意識し職員のニーズを引き出し創意工夫するようになった。ワーク・ライフ・バランスを重視し、「お互い様の文化」を創っている。40~50代の女性も多いため、育児や介護との両立がしやすく、離職率も低い。ウォーキングなどの健康イベントへの参加を推奨し、参加者には交通費などを補助している。

社会医療法人恵愛会中村病院 (別府市/医療・福祉/従業員数:255人)

職員が自ら「楽しい」「取組みたい」と発信することで、職場での波及効果が高まり職員間のコミュニケーションが円滑になり、身体の健康からこころの健康へ好循環を生みだしている。全職員の8割以上の職員が『おおいた歩得』を活用、県主催の職場対抗戦のほか、院長杯対抗戦を開催して「楽しく歩く」に取り組中。減量支援窓口を設置、半年で5kgの減量に成功した職員もあり、成果を上げている。